

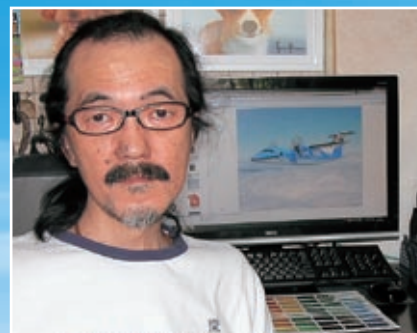
2月25日^月
デビュー!

“イルカの飛行機”がデザイナー一新!

機体のデザインは、本市出身の放送作家・小山薫堂さんが企画・出演するテレビ番組で公募。応募があった269点の中から、デザイナーの横田青史さん（神奈川県）のデザインに決定しました。

特徴は、何といても機体全体を親子のイルカに見立てて描かれていること。親子のイルカが仲むつまじく空を飛ぶ姿は、きっと皆さんの目を楽しませてくれることでしょう。

Voice 声



横田 青史さん

12年間も親しまれてきた「イルカの飛行機」を引き継いで、「見てみたい」「乗ってみたい」「教えたい」をキーワードにしてデザインしました。

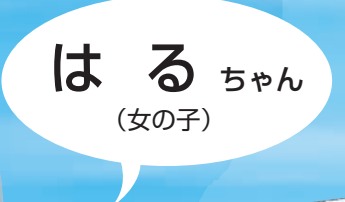
乗っている人も乗らない人も楽しむことができ、移動手段としてだけでなく観光資源として話題を集めることができれば幸いです。



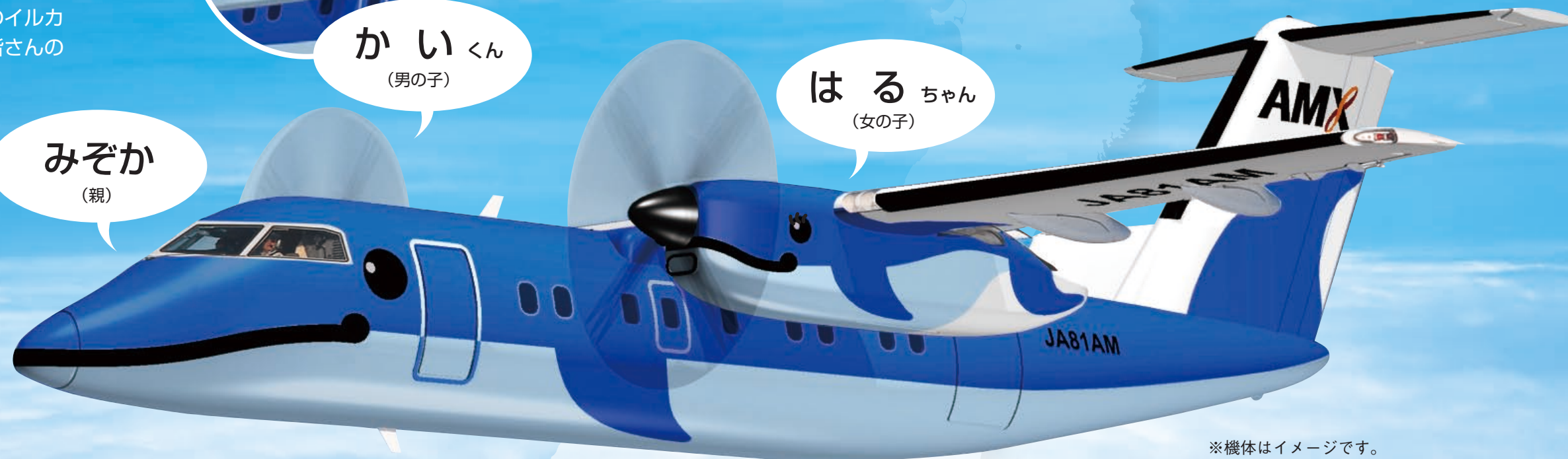
かいくん
(男の子)



みぞか
(親)



はるちゃん
(女の子)



※機体はイメージです。



親子イルカの愛称は、天草エアライン(株)が公募。全国から670通の応募があり、親イルカ(胴体)は川崎博美さん(神奈川県)が応募した“みぞか”に、子イルカは石橋利子さん(大阪府)が応募した“かいくん”(男の子)、“はるちゃん”(女の子)に決まりました。

Voice 声



川崎 博美さん
(神奈川県)

このデザインを見て、素直にかわいいと思いました。天草出身の夫に聞いたところ、“かわいい”を意味する天草の方言が『みぞか』ということで、「これだ」と思い応募しました。親子で仲良く優しく元気よく、天草の空を泳いでほしいですね。これからも家族で利用します。



石橋 利子さん
(大阪府)

この飛行機が笑顔と快晴に包まれるようにと祈願し、「かい(快)くん」「はる(晴)ちゃん」と名付けました。日本が快晴へ向かうかけ橋となってくれる事、また、皆さんにとって空の旅が快適で心が晴れやかなものになることを願っています。私もぜひ天草を訪れたいと思います。